企業・団体名（ 株式会社長野ダイハツモータース ）

（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	採用･昇進･異動等のあらゆる職場環境において差別を行わない体制･教育を構築済。 自社独自の相談窓口を設置済。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	社内にハラスメント禁止を啓発する掲示を実施。 外部、及び自社独自の相談窓口設置済。 【予定】今後も一層、啓発や教育研修を充実。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	タイムカードによる電子勤怠システムを導入済。 定期的に管理職が異常値の有無を確認し指導。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	現在、外国人労働者採用実績はなし。 【予定】メーカーからの留学生等の受け入れを検討。 あわせて差別禁止等を規程化。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	指定産業医同席の下、安全衛生委員会を労働組合と共に開催し、他販社や異業種での事故案件を共有。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェックを導入済。 社員がメンタルヘルス発症時には、かかりつけ医のアドバイスに従った復職プランを実行。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	法令を遵守し、高齢者や障がい者の採用を実施。 昨年から今年にかけ女性営業職を登用（ 5名 ） 【予定】女性の幹部職への積極登用。 育休明けの時短勤務期間の延長。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	職種毎のキャリアマップとそれに基づく能力開発及び研修体制を整備。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	法改正に対応した各種規程の改訂を随時実施。 【予定】不合理な格差なしに向けた勉強会と検証。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	現状では、補助金を活用した健康増進を実施。 今夏、産業医によるコロナワクチン優先接種を紹介。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	メーカー及び自主監査にて、マニュフェストに従った対応を定期的に確認（ メーカーの環境監査合格済 ）											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	【予定】店舗別管理から本社一元管理へ移行。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	本社や店舗の照明をLEDタイプへ切替済。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	把握の上、適切な保管･使用･処理を実施。 塗料については無害な水性品を採用済。 【予定】防錆塗料等の無害品への100％切替。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	メーカーと共に啓発活動を社内掲示し周知徹底。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	営業やサービス、事務等において3Rを推奨。 リサイクル部品や事務用品の積極購入。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	節水の啓発活動を取組中。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	今後取得を検討。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	本社および店舗周辺のごみ拾い活動を昨年より 定期的に開催。 【予定】HPなどで公開。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	EV普及に合わせ、再生可能エネルギー利用を検討。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	お客様おもてなし時のドリンクへのプラスチックカップ から陶器類への転用（ ただしコロナ禍で一時中断 ）												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	規程やマニュアルにおいて徹底済。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	規程やマニュアルにおいて徹底済。 独占発注の禁止と相見積の徹底。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の保有無し。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護に関する基本方針と研修体制を 策定し、適切な管理を内部監査にて随時実施。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	該当なしを確認済。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	下請法の社内徹底･遵守やパートナー企業様との 意見交換を通じて、常に認識を共有済。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	メーカー基準による納車確認シートにて、説明の 有無を随時確認済。 ダブルチェック体制など、一層の安全性提供を実施。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	保証内容の熟知と適切な運用。 市場技術報によるダイハツ車の品質改善や整備性 の向上に積極参画を推奨し、社内表彰化。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	軽自動車を中核とするダイハツ車は、環境配慮に 優れており、その拡販に取組中。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】お客様に活動寄付先を選択いただく S(信州)D(ダイハツ)G(ギフト)s(車検)を 来春より展開。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	長野県との地域見守り協定を締結。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】本活動を通じ、寄付を検討中。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	軽トラ市を盛り上げ、地産地消や地場活性を実体験する機会を創出（ 22年5月より本格実施 ）								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	常に標榜し唱和（ コロナで自粛中 ）することで共有、実践中。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	研修や他販社事例をすぐに共有し、社内における発生抑制に取組中。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	環境だけでなく、営業等での影響も把握し、各部門に責任者を設置済。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	CS調査結果を毎月確認し、店舗や関連部門へフィードバックし、再発防止や改善を即時実施。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	職場の安全衛生へのリスクマネジメントとして安全衛生委員会の開催等、各分野にて整備済。 【予定】EV普及、事業転換時のリスクを想定し整備。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	メーカー方針に準拠する形式で、現状では高校女子サッカーを積極支援。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	BCPを策定済。 【予定】今後は避難訓練に加え、BCPを想定した訓練を実施。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	資本と経営の適切な距離･関係構築に向け定期的な意見交換や状況説明を実施。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）